

観察研究のお知らせ

研究課題名

術前 CT 画像特徴量を用いた肺腺癌の術後病理予測

研究の目的

肺腺癌の治療法は患者さんの病歴や合併症、術前の画像検査などをもとに方針が決定されます。0-II 期の比較的早期の肺腺癌に対する代表的な治療法としては肺葉切除やより侵襲の少ない縮小手術、定位放射線治療などが挙げられます。この内、手術を行った場合には切除後の検体を病理学的に検査することでより詳細な情報が得られますが、現在のところ術前にそのような病理学的情報を予測することは通常の方法では困難です。

我々は術前の CT 画像から特徴量としてデータを抽出し術後の病理所見を予測する統計モデルを作成することが、より適切な治療法選択につながる可能性があると考え今回の調査解析を行うこととしました。

研究の対象

京都大学医学部附属病院で2007年1月から2018年12月に、肺腺癌またはその疑いと診断され、当院呼吸器外科で手術を行った患者さんが対象です。予定研究対象者数は約900名です。

研究期間

研究実施期間: 倫理審査承認日から 2 年

研究の方法

該当症例につき、以下の情報をカルテや画像保存通信システムより抽出します。

- ・ 性別、年齢、体重、身長、既往歴、喫煙歴
- ・ 臨床検査(血液検査、呼吸機能検査)
- ・ 術前の CT 画像データ
- ・ 肺癌に対する治療の情報(手術方法など)
- ・ 肺癌術後の病理検査
- ・ 肺癌治療後の経過についての情報(生存や病気の再発、検査結果の推移など)

本研究のために患者さんに新たな検査をお願いすることはありません。

なお、本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。

研究成果発表

学会や学術誌等で報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

お願い

上記対象条件に該当する患者さんにつきましては、カルテ記載事項や画像など必要なデータを研究に利用させていただくことをご了承ください。

本研究の詳細を知りたい場合には、研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧が可能ですので、下記までお問い合わせください。ただし、知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。他の研究対象者患者さんの個人情報に関してはお答えできません。

なお、本研究への診療情報の利用を望まれない場合も、下記までご連絡ください。

研究資金・利益相反

本研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

松尾 幸憲

電話:075-751-3762、FAX:075-771-9749

病院相談窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(Tel):075-751-4748

(E-mail): ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp